上越南地区商工会景況調査報告書

１．調査要領

(1)調査対象

ア 対象地区　　上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）

イ 対象企業　　同地区内商工会員

ウ 調査企業数　　60　事業所　（うち小規模事業者数　58　事業所）

エ 回答企業数　　60　事業所

（回答率　100.0% ）

(2)調査対象期間

令和４年　　4　月 ～　令和４年　　6　月

（調査時点：　令和4年7月1日　）

(3)調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

(4)調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	17	28.3%	17	28.3%
2 製造業	9	15.0%	9	15.0%
3 卸売業	3	5.0%	3	5.0%
4 小売業	16	26.7%	16	26.7%
5 飲食・宿泊業	7	11.7%	7	11.7%
6 サービス業その他	8	13.3%	8	13.3%
合計	60	100.0%	60	100.0%

		小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数		58	2	0	60
	構成比	96.7%	3.3%	0.0%	100.0%

２．地域内産業全体の景況概要

今回の調査では前期比と比較すると売上ＤＩは改善基調にあるも先行き不安感は拭えない。今期はまん延防止等重点措置の解除に伴う人流増加や春のイベントの再開により、飲食業や小売業を中心に売上は前期と比較し一時的に持ち直したように見受けられるが、前年同期比までは回復せず依然厳しい状況が続いている。また、従前からの原油・原材料の高騰や、電力料金等の値上げ、円安による物価の上昇の影響のほか、コロナウイルス収束の不透明感も残っている。相次ぐ原材料価格の高騰に対し、製造業を中心に価格転嫁の交渉が思うように進まぬこともあり、先行きの景況に対し懸念を示す回答も多く寄せられた。

【売上高】

売上ＤＩ値は、前年同期比（R3.4月～6月）より△3.3ポイント減少したが、前期比（R4.1月～3月）では+41.7ポイントと大幅に改善している。しかし、今後の見通し（R4.7月～9月）は△1.6ポイント減少となり、依然として低水準で推移する見通しとなっている。

前年同期比

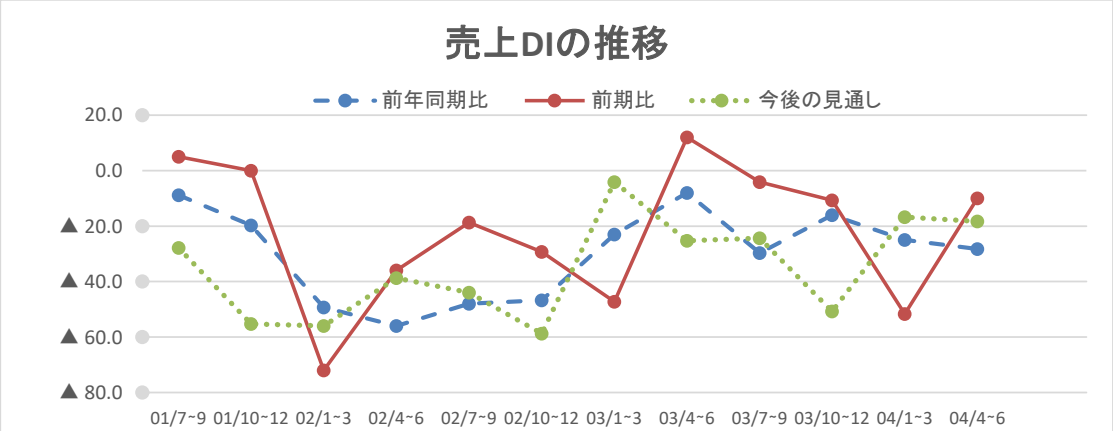
増加	不変	減少
8	27	25

前期比

増加	不変	減少
15	24	21

今後の見通し

増加	不変	減少
9	31	20



	01/7~9	01/10~12	02/1~3	02/4~6	02/7~9	02/10~12	03/1~3	03/4~6	03/7~9	03/10~12	04/1~3	04/4~6	
前年同期比	▲ 8.9	▲ 19.7	▲ 49.3	▲ 56.0	▲ 48.0	▲ 46.7	▲ 23.0	▲ 8.0	▲ 29.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 28.3	
前期比	5.1	0.0	▲ 72.0	▲ 36.0	▲ 18.7	▲ 29.3	▲ 47.3	12.0	▲ 4.1	▲ 10.7	▲ 51.7	▲ 10.0	
今後の見通し	▲ 27.8	▲ 55.3	▲ 56.0	▲ 38.7	▲ 44.0	▲ 58.7	▲ 4.1	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 50.7	▲ 16.7	▲ 18.3	

【採　算】

採算値については、前年同期比（R3.4月～6月）で△13.3ポイントであったが、前期比（R4.1月～3月）では＋26.4ポイントと増加した。だが、今後の見通し（R4.7月～9月）では△10.0ポイント減少している。また、小売業においては売上ＤＩと同じく今後の見通しで半数の事業者が悪化との回答であった。

前年同期比

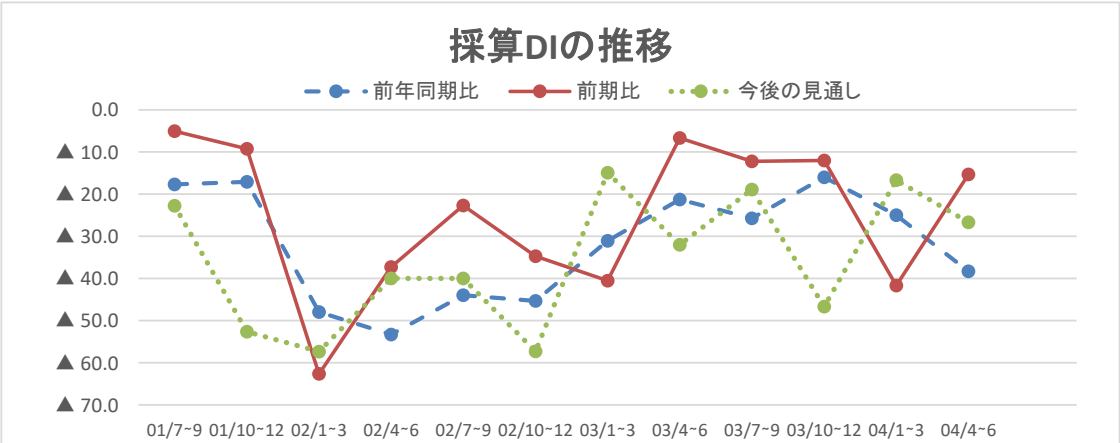
好転	不変	悪化
3	31	26

前期比

好転	不変	悪化
9	32	18

今後の見通し

好転	不変	悪化
5	34	21



	01/7~9	01/10~12	02/1~3	02/4~6	02/7~9	02/10~12	03/1~3	03/4~6	03/7~9	03/10~12	04/1~3	04/4~6	
前年同期比	▲ 17.7	▲ 17.1	▲ 48.0	▲ 53.3	▲ 44.0	▲ 45.3	▲ 31.1	▲ 21.3	▲ 25.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 38.3	
前期比	▲ 5.1	▲ 9.2	▲ 62.7	▲ 37.3	▲ 22.7	▲ 34.7	▲ 40.5	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 12.0	▲ 41.7	▲ 15.3	
今後の見通し	▲ 22.8	▲ 52.6	▲ 57.3	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 57.3	▲ 14.9	▲ 32.0	▲ 18.9	▲ 46.7	▲ 16.7	▲ 26.7	

【仕入単価】

仕入単価については、前年同期比（R3.4月～6月）で△1.7ポイントの減少であったが、前期比（R4.1月～3月）では＋5.0ポイント、今後の見通し（R4.7月～9月）も＋6.7ポイントと増加している。今後の見通しでは調査企業の７割が上昇との回答であった。

前年同期比

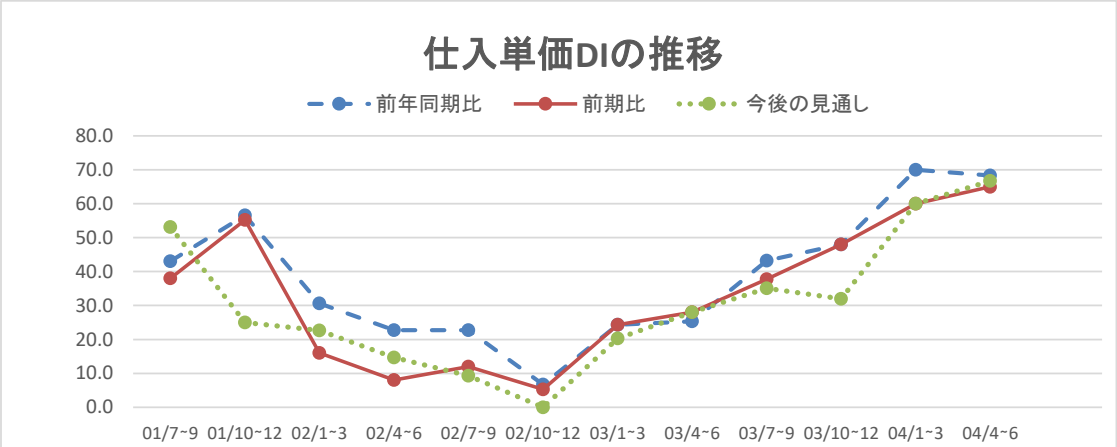
上昇	不変	低下
43	15	2

前期比

上昇	不変	低下
41	17	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
42	16	2



	01/7~9	01/10~12	02/1~3	02/4~6	02/7~9	02/10~12	03/1~3	03/4~6	03/7~9	03/10~12	04/1~3	04/4~6	
前年同期比	43.0	56.6	30.7	22.7	22.7	6.7	24.3	25.3	43.2	48.0	70.0	68.3	
前期比	38.0	55.3	16.0	8.0	12.0	5.3	24.3	28.0	37.8	48.0	60.0	65.0	
今後の見通し	53.2	25.0	22.7	14.7	9.3	0.0	20.3	28.0	35.1	32.0	60.0	66.7	

【販売（客）単価】

販売単価については、前年同期比（R3.4月～6月）で＋11.8ポイントであり、前期比（R4.1月～3月）は＋23.3ポイントで共に増加となった。さらに、今後の見通し（R4.7月～9月）でも＋5.0ポイントの増加を示している。今回調査で卸売業及び飲食・サービス業においては全ての調査期間で不変もしくは低下と回答した事業所が目立った。

前年同期比

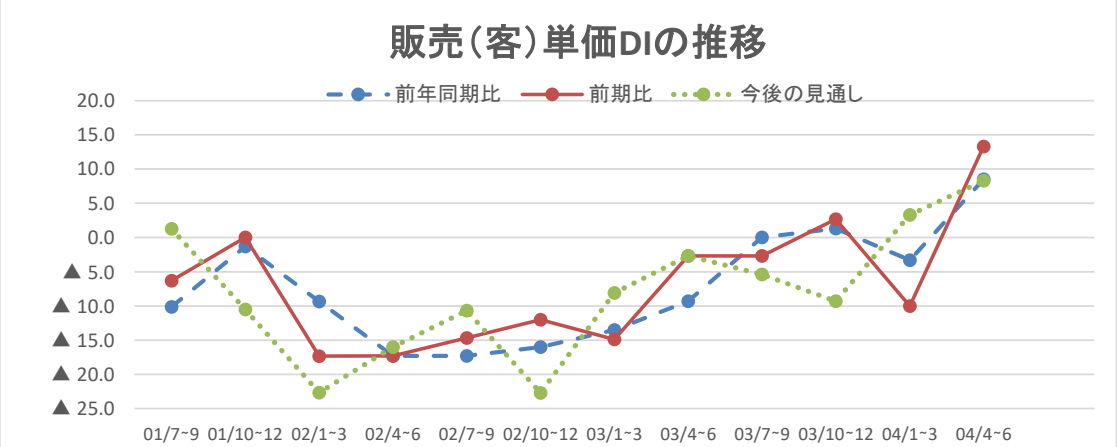
上昇	不変	低下
12	40	7

前期比

上昇	不変	低下
13	42	5

今後の見通し

上昇	不変	低下
11	43	6



	01/7~9	01/10~12	02/1~3	02/4~6	02/7~9	02/10~12	03/1~3	03/4~6	03/7~9	03/10~12	04/1~3	04/4~6	
前年同期比	▲ 10.1	▲ 1.3	▲ 9.3	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 16.0	▲ 13.5	▲ 9.3	0.0	1.3	▲ 3.3	8.5	
前期比	▲ 6.3	0.0	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 14.9	▲ 2.7	▲ 2.7	2.7	▲ 10.0	13.3	
今後の見通し	1.3	▲ 10.5	▲ 22.7	▲ 16.0	▲ 10.7	▲ 22.7	▲ 8.1	▲ 2.7	▲ 5.4	▲ 9.3	3.3	8.3	

【資金繰り】

資金繰りについては、前年同期比（R3.4月～6月）で△6.6ポイントであり、前期比（R4.1月～3月）では＋8.3ポイントと増加した。しかし、今後の見通し（R4.7月～9月）では△1.7ポイント減少となった。前期同期比及び今後の見通しでは殆どの調査企業が不変・悪化との回答であった。

前年同期比

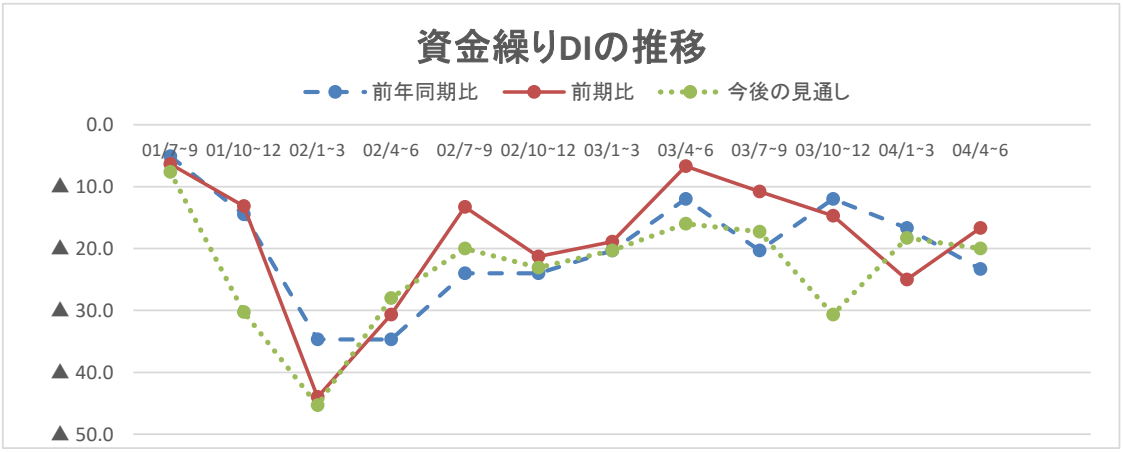
好転	不変	悪化
0	46	14

前期比

好転	不変	悪化
1	48	11

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	48	12



	01/7~9	01/10~12	02/1~3	02/4~6	02/7~9	02/10~12	03/1~3	03/4~6	03/7~9	03/10~12	04/1~3	04/4~6	
前年同期比	▲ 5.1	▲ 14.5	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 16.7	▲ 23.3	
前期比	▲ 6.3	▲ 13.2	▲ 44.0	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 21.3	▲ 18.9	▲ 6.7	▲ 10.8	▲ 14.7	▲ 25.0	▲ 16.7	
今後の見通し	▲ 7.6	▲ 30.3	▲ 45.3	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 17.3	▲ 30.7	▲ 18.3	▲ 20.0	

【雇用動向】

雇用動向については、前年同期比（R3.4月～6月）で＋5.0ポイント、前期比（R4.1月～3月）は＋3.3ポイントとなり、さらに今後の見通し（R4.7月～9月）でも＋5.0ポイントと全てにおいて前回調査より好転となった。しかしながら、9割の事業所が今回の調査で不変と回答している。

前年同期比

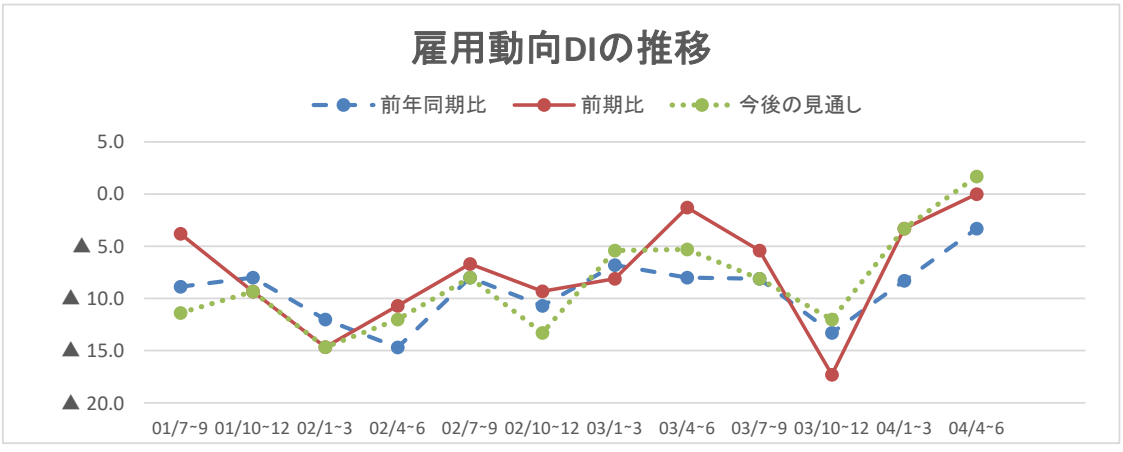
増加	不変	減少
3	52	5

前期比

増加	不変	減少
3	54	3

今後の見通し

増加	不変	減少
3	55	2



	01/7~9	01/10~12	02/1~3	02/4~6	02/7~9	02/10~12	03/1~3	03/4~6	03/7~9	03/10~12	04/1~3	04/4~6	
前年同期比	▲ 8.9	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 14.7	▲ 8.0	▲ 10.7	▲ 6.8	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 3.3	
前期比	▲ 3.8	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 10.7	▲ 6.7	▲ 9.3	▲ 8.1	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 17.3	▲ 3.3	0.0	
今後の見通し	▲ 11.4	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 13.3	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 12.0	▲ 3.3	1.7	

【景況判断】

景況判断については、前年同期比（R3.4月～6月）で＋13.3ポイントであり、前期比（R4.1月～3月）では＋30.0ポイント、今後の見通し（R4.7月～9月）も＋10.0ポイントと全ての調査期間で改善傾向にある結果を示した。また好転すると回答した事業所数は微増となっている。

前年同期比

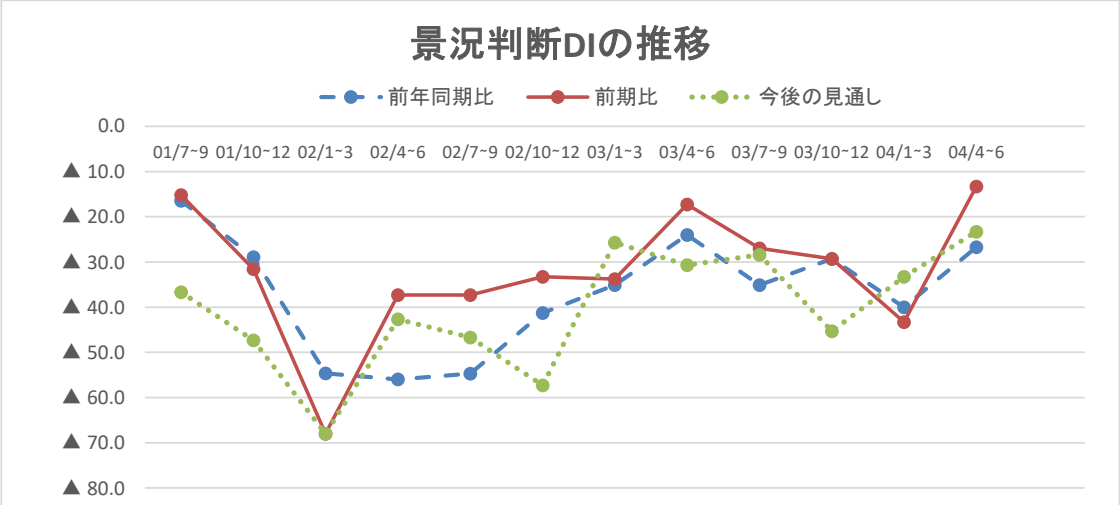
好転	不変	悪化
5	34	21

前期比

好転	不変	悪化
9	34	17

今後の見通し

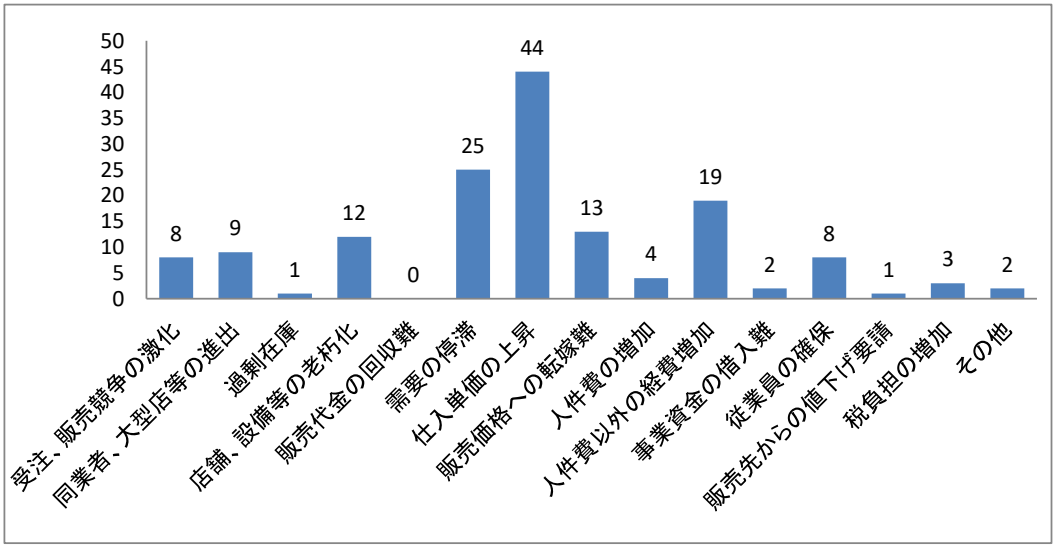
好転	不変	悪化
6	34	20



	01/7~9	01/10~12	02/1~3	02/4~6	02/7~9	02/10~12	03/1~3	03/4~6	03/7~9	03/10~12	04/1~3	04/4~6	
前年同期比	▲ 16.5	▲ 28.9	▲ 54.7	▲ 56.0	▲ 54.7	▲ 41.3	▲ 35.1	▲ 24.0	▲ 35.1	▲ 29.3	▲ 40.0	▲ 26.7	
前期比	▲ 15.2	▲ 31.6	▲ 68.0	▲ 37.3	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 33.8	▲ 17.3	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 43.3	▲ 13.3	
今後の見通し	▲ 36.7	▲ 47.4	▲ 68.0	▲ 42.7	▲ 46.7	▲ 57.3	▲ 25.7	▲ 30.7	▲ 28.4	▲ 45.3	▲ 33.3	▲ 23.3	

【経営上の問題点】

経営上の問題点について、今回の調査も前回調査と同じく「仕入単価の上昇」が最も多く、次いで「需要の停滞」「人件費以外の経費増加」が問題点として挙げられていた。特に「仕入単価の上昇」については、小売業・サービス業以外の業種で７割以上の事業所が回答している。さらに、小売業においては約半数の事業所が「人件費以外の経費増加」を問題点として挙げているのが目立つ。また、現在の経営環境下において貴社が感じておられることとして、販売価格への転嫁困難や人口減少、顧客の高齢化など不安視する意見等が挙がっている。



３．産業別景況概要

（１）建設業

建設業においては、売上高が前期比より好転したと３割の事業所が回答したが、前年同期比・今後の見通しでは９割弱の事業所が不変もしくは悪化するとの回答をし、今後の経営状況は厳しいと見受けられる。経営上の問題点に関しては、材木等の価格の高騰による「仕入単価の上昇」との回答が最も多く、次に「従業員の確保」となっている。景況判断に関しては、仕入単価の高騰に加え、材料の確保難による工事着手の遅延が課題となっており、これらはウクライナ情勢の悪化や物価の高騰が影響していると考えられる。

（２）製造業

製造業の売上及び採算性については、調査した全事業所が前期比より悪化及び不変との回答であった。但し、今後の見通しにおいては３割の事業所が好転すると回答していた。また、仕入単価においては前年同期比・前期比・今後の見通しで上昇すると約９割の事業所が回答した。経営上の問題点としては、「販売価格への転嫁難」と回答した事業所が多く挙げられていた。

（３）卸・小売業

卸売業においては売上・採算性ともに殆どの事業所が前年同期比から前期比まで減少との回答。また、小売業については、今後の見通しで半数以上の事業所が売上が低下するのではないかと先行き不安視する声が多く聞かれた。経営上の問題点としては卸売業・小売業ともに「仕入単価の上昇」「需要の停滞」を挙げていた事業所が多かった。さらに、小売業においては「人件費以外の経費増加」を問題点としている事業所も多くみられた。

（４）サービス業（飲食・宿泊を含む）その他

飲食業においては、オミクロン株の感染拡大も収まりつつあったことで、まん延防止等重点措置が解除され人流の増加で、売上及び採算性で半数の事業所が前期比より好転したとの回答であった。しかし、今後の見通しでは８割強の事業所が不変及び減少との回答をしている。また、サービス業においては前年同期比から今後の見通しまで減少あるいは悪化傾向にあるとの回答が多く見られた。飲食・宿泊業で最も多い経営上の問題点に上げられていたのは「仕入単価の上昇」であり、サービス業においては「人件費以外の経費増加」及び「店舗、設備等の老朽化」が挙げた事業所が目立つ。

※　今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

【 建設業 】
・売上を上げるには設備投資が必要不可欠ですが、借入ができない。今現在の資材では今の売上がMax
・従業員の休日：隔週２日制を目指す

【 製造業 】
・販売価格の上昇、価格のみだれ、仕事の有無にとても不安がある
・仕入価格の高価格がどこまでになるか
・商品価格の値上げの難しさ

【 小売業 】
・人口の減少早すぎる

【 サービス業（飲食・宿泊を含む）その他 】
・箸が全国放送で流れたり、無印良品で高調子なのでブームをおこしたい。
はし作り体験など面白い企画をしていきたい。
・光熱費、食料品等全てが値上げされ困っている。自店の商品は値上げせずやって行きたい。
・人口の減少及び顧客の高齢化